

2024年 teen's 季節のカレンダー

8 がつ



【8月の詩】

海のもっとう

さんごじゆの花が咲いたら、
咲いたらといつか思った
さんごじゆの花が咲いたよ。

あの島へこいで行けたら、
行けたらといつか思った
その島にきょうはきてるよ。

あの白帆どこへゆくだろ
あの小鳥どこへゆくだろ、
あの空はどこになるだろ。
行きたいな、あんな遠くへ、
あの海の空のむこうへ、
こんどこそ遠く行くよ。

北原白秋／〔著〕

「赤い鳥5年生」

小峰書店

8月の行事【暑気払い】——夏至（6月21日頃）～処暑（8月23日頃）——

暑気払いとは健やかに夏を乗り切る習わしであり、生活の知恵。夏の厳しい暑さが続く時期に、冷たい飲み物や食べ物で体の熱を払い、海水浴やプールに出かけて体を冷やします。決まったルールはありませんが、ビアガーデンでの「乾杯！」も暑気払いのひとつ。また甘酒は夏の季語にもなるほど夏に飲まれてきた歴史があり、暑気払いの飲料としてもおすすめです。

旬の味【冷やし中華】

そうめんと並ぶ夏麺の二大巨頭、冷やし中華。ハム、きゅうり、錦糸卵と身近な材料で彩りよく、手軽に作れる気軽さも魅力です。しょうゆだれでさっぱり食べるか、ごまだれでコクと風味を味わうか、どちらを選ぶかも楽しみのひとつ。一日の最高気温が7日平均で20℃を超えるタイミングが、冷やし中華の始め時だそうです。

8月の本「すいかの匂い」江國 香織／著

あの夏の記憶だけ、いつまでもおなじあかるさでそこにある。つい今しがたのことみたいに——バニラアイスの木べらの味、ビニールプールのへりの感触、おはじきのたてる音、そしてすいかの匂い。無防備に出遭ってしまい、心に織りこまれてしまった事ども。おかげで困惑と痛みと自分の邪気を知り、私ひとり、これは秘密、と思い決めた。11人の少女の、かけがえのない夏の記憶の物語。



発行：集英社 場所：ティーンズコーナー（W 17）